

全国農業教育研究会 第55回京都・亀岡大会

環境先進都市亀岡に学ぶ

～ 食農教育の視点から ～

後援：亀岡市・亀岡市教育委員会

会員以外当日参加可

1日目 10月18日(土) 12:30～ (受付 12:00～)

場所：ガレリアかめおか *オンライン併用

来賓挨拶：亀岡市長 桂川孝裕氏

記念講演：「食と農から学ぶ」
藤原辰史氏

講師紹介：藤原辰史氏 京都大学人文科学研究所教授・博士(人間・環境学)
専門は歴史学、農業史と環境史。戦争、技術、飢餓、ナチズム、給食など多岐にわたるテーマを扱い、自然界と人間界を同時に叙述する歴史の方法を探求。主な著書には「ナチス・ドイツの有機農業」「トラクターの世界史」「給食の歴史」「分解の哲学」「縁食論」など。

シンポジウム：「地域づくりと農業」

【コメンテーター】 □藤原辰史氏

【パネリスト】 ○荒美大作氏(亀岡市農林振興課)

農業由来の環境負荷低減を図るため、有機農業の推進に取り組む。

○片本満大氏(かたもとオーガニックファーム)

自然栽培8年目。亀岡オーガニックアクションを設立。市と協働で自然環境を守る有機農業を広め、継続化を図る。

○吉田武彦氏(福知山市立三和小中学校三和創造学習地域講師)

地域の歴史、養蚕と米作りなどの体験的学びを实践。



2日目 10月19日(日) 9:00～12:00

場所：ほん梅の里

分科会：テーマ(仮) レポート募集中!

「職場の教育実践」「地域と農業」「食農教育」

今取り組んでいること、例えば作物の栽培・飼育、食品加工、農業クラブ活動、スマート農業、家族農業、食農教育、政策動向、あるいは抱えている課題・悩んでいることなどを交流します。

*大会・総会終了後 14:30頃 希望者のみ現地見学あり



参加費：1日のみ ¥1000
両日 ¥3000

会員以外：当日参加可
オンライン：締切 10月10日

参加費等くわしくは「全農研」HP 亀岡大会要項をご覧ください。
申込先：事務局(内山)
TEL/FAX 0254-66-7713
you-hei@bg.wakwak.com



問い合わせ先 大会事務局 渋谷 090-9054-3429

全国農業教育研究会（全農研）とは

全国農業教育研究会とは、全国の小学校から大学までの教員や学生、出版社や農業者・研究者が参加し、日々の教育実践の成果を持ち寄って交流したり日本各地の農業の現場に学びながら、農業教育の持っている教育的意義と必要性、教育的に果たしている役割を多くの人に広め、農業・農村、農業教育の発展に寄与しようと研究している研究会です。年一回の大会と時の求める地域研究集会などを開催しています。

全農研の主な活動

- ・ 会報・研究会誌にあなたの実践記録、研究論文、意見をのせます。
- ・ 毎年8月上旬（事情による場合変わることもある）に大会を開き、教育活動や地域での農業に関する実践を報告しあい、情報を交換しています。
- ・ 関西、東北、関東など各地で、地域研究集会を開催し交流を深めます。
- ・ 全国教研集会の参加者に呼びかけて「全農研の夕べ」を開催しています。
- ・ 農業や食教育の最新情報を流します。

**誰もが学ぼう「農」の教育を
農業従事者を育てる農業教育を
小・中・高を通しての農の教育を
地域に根ざした農業教育を
そして日本の農業の発展を
農業生産の技術とその科学的根拠を
学ぶ農業学習をとおして豊かな人つ
くりをめざします。**

**いまこそ広く皆でともに考え学んで
いきましょう**

入会された
岐阜：小学校 T 先生の入会の一言

「大地に命が芽生えて育っていくのを見たり育てたりする喜び、収穫の喜び、そしてとりたてをおいしく食べる喜びを、子どもたちとともに味わっていききたいと思います。」



（現在会員数約100人）

運営委員長 高栖 敬（茨城）
事務局長 内山雄平（新潟）

全国農業教育研究会のあゆみ

- 1971年 全国教研東京集会に参加した農業教員24人の発議より、農業高校連会として発足。 会員数64人。
- 1974年 全国農業教育研究会と改め、日本民間教育団体連絡会に加盟。
- 1977年 千葉、1978年新潟の大会で、農業教育と地域との結びつきが運動の柱の一つとなる。
- 1980年 「農業教育の国民的課題」の追究を全農研運動の課題とする。
- 1984年 京都美山で地域の教育団体との共催を実現。
- 1985年 世界環境教育会議の事務局に参画。
- 1988年 長野大会から、農民運動全国連合会との交流が始まる。
- 1990年 大阪大会において「小・中・高一貫の農業教育」を提起。
- 1994年 「農業についての正しい認識を育てること」を目標として明示。
- 2003年 千葉、2004年滋賀大会で不耕起栽培の稲作技術に触れ、農業教育と環境教育が不可分のものであることを確認。
- 2006年 山形の農民詩人・星寛治氏の実践から「農の教育力」の確証を得る。
- 2010年 福島県喜多方市の小学校に設置された教科「農業科」の試み、熱塩加納町の有機農業に「教育力のある農業」の実例を見る。
- 2011年 大阪大会において中学技術科「生物育成」のための実技講習会を開催。
- 2012年 大阪大会の実技講習会をもとに『「生物育成」実践の手引き－その1』をテキストとして出版。**
- 2014年 「手引き－その1」中学校技術家庭の先生や専門家の意見を聞き『「生物育成」実践の手引き－その2』をテキストとして出版。**
- 2017年 栃木大会で黒田洋一郎氏より長期残留農薬（ネオニコチノイド系など）と発達障害について問題提起をされる。
- 2018年 京都・大阪大会をはじめ教員養成課程のある京都教育大学で開催。 はじめて「京野菜と和食」をテーマに調理実習を行う。
- 2021年 全国農業教育研究会50周年記念誌刊行 日本の農政、教育行政（年表付き）との関係で書かれた唯一の農業教育実践集**
- 2023年 千葉いすみ市で大会を開き、学校給食に全量有機米を使用している取組を学ぶ。



生涯学習施設・
道の駅ガレリアかめおか

〒621-0806
京都府亀岡市余部町宝久保 1-1
TEL. 0771-29-2700(代)
FAX. 0771-22-6538

宿泊について

18日宿泊しなくても2日目に参加できますが、宿泊希望の方は大会要項に沿って事務局（内山）に申し込んでください。
ほん梅の里（料理旅館）
〒621-0252
京都府亀岡市本梅町中野清水口 3
TEL. 0771-26-3087

交流会について

10月18日の夜、ほん梅の里にて交流会があります。参加をされる方は大会申込と合わせて9月中旬までに申し込んでください。
申込先：事務局（内山）
TEL/FAX0254-66-7713
you-hey@bg.wakwak.com